

くみあい配合飼料の放射能に対する安全性について

弊社は、福島第一原発事故に伴う放射能に対する、くみあい配合飼料の安全性について、下記の理由から問題ないものと認識しております。また、農水省も同様の観点から、配合飼料については暫定許容値を設定しておりません。

そのため今回の原発事故による汚染問題については、引き続き農水省の指導に基づき品質管理に努めてまいります。

記

1. 原料について：

- (1) 配合飼料の原料はトウモロコシをはじめ大部分が海外から輸入されたものであるため、今回の事故による直接的な影響は受けていません。
- (2) 国内産原料については、主に食品工場の副産物であるため、食品並みの製造管理のもと安全性が確保されています。

2. 製造について：

- (1) 配合飼料を製造する設備はすべて屋内にあり、その製造ラインは密閉された状態にあるので、大気中に放出された放射性物質が配合飼料製品に混入する可能性は極めて少ないと言えます。

3. 製品配送について：

- (1) バラ出荷の場合は、専用の飼料運搬車で密閉された状態で配送するため、放射性物質が混入する可能性は極めて少ないと言えます。
- (2) バラ出荷以外の場合も、トランスバッグや紙袋の包装容器に詰められ密閉された状態で配送されているため、放射性物質が混入する可能性は極めて少ないと言えます。

以上のとおり、くみあい配合飼料は、製造・配送において放射能への安全性が確保されていますので、引き続き安心してご利用下さい。今後も弊社では飼料原料および配合飼料製品にかかわる放射能の対応について、農水省および業界の動向・情報の収集と発信に努めてまいります。

以上